



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!
「パークナイズ 公園化する都市」著 馬場正尊 飯石藍 小川理玖 菊地純平 木下まりこ 中島彩 和久正義
編 Open A+ 公共R不動産(学芸出版社)



今号のおすすめ
ライブラリーはこちら!



公園というどよういったイメージを持っていますか?子ども用の遊具があり、遊べたり、芝生広場や池があり、その周りをジョギングできたり、緑が豊かでくつろげるような空間をイメージするのではないのでしょうか。

昨今、Prark-PFI(公募設置管理制度)を活用し、公園内にカフェなどが設置され、公園の利便性や魅力の向上に寄与しています。

この本の第1章では、公園と何かを掛け合わせ、空間の可能性を広げる取組を「公園×〇〇」として紹介し、それぞれのプロジェクトにおいて、整備や運営スキームがどのようになっているか示されています。第2章では、公園と見立てる空間をサイズ別に分け、その空間はこんな使い方ができるのではないかといい妄想アイデアが掲載され、第3章には実践者のインタビューがまとめられ、当事者の声も知ることができます。

この本を読むことで、様々な空間を公園に見立てて、魅力的な場にする実践者になりたくならないのでしょうか。アイデアを妄想するだけでも楽しめます。

マーチィ VOICE

●まちづくりプレイヤー紹介●

伊勢崎市 地域おこし協力隊 関口咲季子

私は伊勢崎市のいわゆるまちなかと言われる地域(伊勢崎駅から商店街周辺)の活性化をミッションとして掲げ、令和5年4月から活動しています。

伊勢崎のまちなかには地名の由来にもなった深い歴史があり、その歴史に誇りを持ち生活している地元の方々があります。私はそのようなまちなかの魅力を移住してから知る機会が増えました。そして、この地域の魅力や特色を自分がまずさらによく知ること、その情報を多くの人に発信することを活動の柱のひとつとしています。情報発信を続けていくことで、まちなかやまちづくりに興味を持ってくれる方が増えればと考えています。

また、趣味である読書から広がって、本に関する活動をしてみたいという考えがありました。地域の方にもご協力いただき、今年4月と11月に、「のっばらマルシェと本とコーヒー」というイベントを企画・開催しました。4月には図書館近くの広場を利用し、11月には商店街にある広場と空き店舗をお借りして開催しました。群馬県内の本に関する活動を行っている方々と繋がれたほか、地域の人たちにもイベントとしての地域の活用方法を提案でき、充実した1日となりました。

今後も情報発信を進め、地域の方と協力しながら伊勢崎での活動を続けていけると考えています。



まちなか
イノベーター
Instagram

11月は商店街の空き店舗をお借りして開催しました

マーチィの掲示板

「景観法制定20周年記念シンポジウム・令和6年度全国景観会議全体研修会」参加レポート

群馬県 都市計画課 景観形成係 藤田 瑛子



10月31日・11月1日に、鳥取県で行われた研修会に参加してきました。

1日目は講演とシンポジウムで、景観法に関するこれまで振り返りと、今後に向けた問題提起、事例発表等が行われました。

2日目は現地研修会に参加しました。中でも「倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区」は、江戸時代後期から繁栄した商家の町並みが当時の面影を残しており、赤瓦などの地域的特徴を備えた町家や白壁の美しい土蔵が立ち並んでいます。大正以降、産業の衰退により空洞化が進んだものの、地元の方々による保存活動や行政の後押しにより、古い町並みを今に残しているそうです。倉吉市の職員の方の解説付きで現地を巡りましたが、地元の方の熱意・意向を大切にしながら、共に町を大切に守っていこうという意識が伝わってきたのが印象的でした。

初めての鳥取訪問でしたが、残念ながら有名な砂丘に行く時間は取れませんでした。食べ物美味しく(「モサエビ」や「とうふちくわ」、お土産屋さんにも山積みになっていたうさぎ型銘菓も美味!冬はカニだそうです!),私はぜひとも再訪し、砂丘とグルメを楽しみたいです。

